

ちば 県民だより

編集・発行 / 千葉県総合企画部報道広報課 〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号 TEL 043-223-2241 FAX 043-227-0146

県人口 6,281,869人(対前月比23人減) 男 3,119,948人 / 女 3,161,921人 世帯数 2,805,118世帯(対前月比1,793世帯増) [令和3年1月1日現在]

もくじ

心も体も元気に!フレイル予防……………2~3面	春の全国火災予防運動……………5面
新型コロナウイルス関連の支援をご活用ください…4面	県民ひろば……………6~7面
千葉県知事選挙のお知らせ……………4面	旬のレシピ ちばの味……………8面

2月号

通算
第515号

毎月5日発行(1月のみ1日発行)

県庁代表電話 **043-223-2110**

パソコン・スマートフォン版

<https://www.pref.chiba.lg.jp/>



スマートフォンアプリ「マチイロ」で「ちば県民だより」が見られます

一緒に乗り越えていこう

1月7日に緊急事態宣言が出されてから約1カ月がたちます。

県民や事業者の皆さまには、外出自粛や営業時間の短縮など、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため大変なご協力をいただき、本当にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症対応の最前線で昼夜を問わず働いている医療関係者をはじめ、新型コロナウイルス対策に従事する全ての皆さまのご尽力に、心から感謝を申し上げます。

この状況がいつまで続くのか不安な日々をお過ごしの方も多いかと思えます。しかし、この困難を乗り越えるには、やはり、県民の皆さま一人一人の行動が一番の原動力となります。改めて、不要不急の外出は控えていた

だき、マスク着用、手洗いなど基本的な対策の徹底をお願いいたします。また、事業者の皆さまにおかれましても、引き続き、感染防止対策にご協力くださいますよう、お願いいたします。

県としても、営業時間の短縮等にご協力いただいた事業者の皆さまへの協力金の支給など、しっかりと支援を積み重ね、経済への影響を最小限に抑えられるよう力を尽くしてまいります。

私たち一人一人の行動が、自分を、そして、大切な人を守ることに繋がります。この困難を、みんなの力で乗り越えていきましょう!

千葉県知事 **森田健作**

外出の自粛をお願いします

千葉県では、県民の皆さまに不要不急の外出*自粛をお願いしています。感染の拡大が続くと、入院病床や医療スタッフなどの医療資源が逼迫し、必要な医療が受けられなくなってしまいます。皆さまには大変なご負担となりますが、感染拡大を何としても抑え、医療崩壊の進行を食い止めるため、ご理解・ご協力をお願いします。

*通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、職場への必要な出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要な外出は自粛要請の対象外です。

問い合わせ 特措法協力要請電話相談窓口 TEL 043(223)4318

感染リスクが高まる「5つの場面」

これまでの感染拡大の経験から、感染リスクが高い行動や場面が明らかになってきました。感染リスクが高まる「5つの場面」を避け、マスク着用、手洗い、換気と加湿など、感染防止対策を徹底しましょう。

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍くなり、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



▶ 時短営業に関する協力金など、新型コロナウイルス関連の支援・相談窓口については、4面で紹介しています。

◆ 掲載の情報は、1月22日(金)時点のものです。最新の情報は県ホームページなどをご覧ください。

千葉県 コロナ対策 検索

